

最先端で宇宙開発を行なっている方々から見た赤平

植松電機に関わりがある、宇宙開発の最先端で活躍している方々が、赤平を訪問し宇宙開発を行なうにあたって、どんなことを思ったのか？赤平の可能性をどのように感じているのか、インタビューしました。

はやぶさ打ち上げ経験、常識を覆す新型燃料開発



もりひろ やすひろ 森田 泰弘 氏
JAXA 宇宙科学研究所 教授

1982年東京大学工学部航空宇宙科卒業。カナダ・プリンスエドワード島大学客員研究員を経て、1990年旧文部省宇宙科学研究所現JAXA(A)助手、2022年4月から専任教授(再雇用)
専門はシステムと制御。M-IVロケットとイプシロンロケットの開発責任者を務め、はやぶさなどを打ち上げた。JAXAで一貫して固体燃料ロケットの研究開発に従事

現在どんなお仕事をしていますか？

イプシロンでは「ロケットをもっと身近な存在にしよう」とスローガンにチーム一丸となってロケット改革に取り組み、モバイル管制などロケットを打ち上げる仕組みを簡単にしました。現在はロケットを作る仕組みを簡単にしようと研究を行なっています。そこから生み出されたのが新たな固体ロケット燃料(低融点熱可塑性推進薬・LTP)です。

森田さんからみて、

赤平はどんな存在ですか？

新たな技術にチャレンジする場です。これからの宇宙開発で本当にチャレンジングなことは赤平で行なう。赤平で技術の芽を育て、大樹町で打ち上げるといふような大きな流れができていくのだと思います。ロケット開発は最先端の科学技術なのでドライな世界を想像しますが、すべては人の力です。それが赤平にはある。JAXAの能代ロケット実験場や内之浦宇宙空間観測所では

きないことが赤平ではできる。そういうふうに思っています。



LTPロケットを打ち上げ

赤平がもつ宇宙の可能性は

どんなところだと思えますか？

世界には宇宙に近いと呼ばれる町がたくさんありますが、その中でも赤平は異色の存在です。単にロケットを打ち上げるとか、天体観測をするとか、そういうことではないのです。赤平には新たな技術の地帯を開いて、自ら宇宙に近づいていこうというチャレンジ精神があります。赤平にはどんな技術革新も可能とする無限の可能性があると思います。

赤平が生んだ！次世代の宇宙産業を担う技術者



たかなし ともひろ 高梨 知広 氏
株式会社 MJOLNIR SPACEWORKS
技術部 R&D マネージャー

1988年赤平市生まれ
2019年3月北海道大学 大学院工学院 宇宙環境システム工学研究室 博士後期課程修了
2019年4月同研究室で1年間、博士研究員として小型ロケットモーターの研究開発に従事
2020年4月同年に設立したハイブリッドロケット開発ベンチャー企業(現所属)に入社

現在どんなお仕事をしていますか？

CAMUI型ハイブリッドロケット

を大きくして、人工衛星などを宇宙まで運べるよう、実用化に向けた研究開発を主に行なっています。その他、航空機や宇宙機に搭載する関連機器の開発・設計・製造を行なっています。



実験の作業中

赤平で実験、またはその他作業を行なっていて何かいいことはありましたか？

全国を見渡しても、宇宙に到達できるような規模のロケットの燃焼実験を行なえる場所は数えるほどしかありません。その中であって、赤平は札幌からのアクセスも良いため、学生時代から現在まで植松電機との連携が取りやすく、非常に有意義な実験を行なうことができます。

高梨さんからみて、

赤平はどんな存在ですか？

赤平は自分の出身地であり、学生時代の青春が詰まった場所でもあるので特別な思いがあります。そんな場所で、大人になっても大好きな宇宙開発を仕事

赤平がもつ宇宙の可能性は

どんなところだと思えますか？

宇宙関係者が実験のために全国から赤平に集まってくることによって開発者同士のつながりから、新しいアイデアが生まれることがあると思います。また宇宙関係者と地元の方々との交流も増え、赤平にとって宇宙開発がさらに身近なものとなり、そこから新たに宇宙を目指す人材が育成されることと思います。私たちが植松電機と連携し、宇宙開発を通して、赤平をもっと盛り上げていきたいと思っています。

驚異の転身！米軍から宇宙開発企業の代表へ



ケンプス ランドン トマス 氏
KAMPS Landon Thomas 氏
共同代表取締役(Letara株式会社・北大認定スタートアップ企業)・特任助教(北海道大学)

現在どんなお仕事をしていますか？

小型人工衛星用のロケットエンジンの開発を行なっています。北海道大学では、地球の周りにおける磁気圏を、X線で撮影することを目的としたGEORXと呼ばれる人工衛星の国家プロジェクトに参加しています。私は、10名の学生と、人工衛星を地球低軌道から超高度軌道へ移動させるためのロケットエンジン開発のマネジメントをしています。Letaraでは、北海道大学で開発された技術を商業衛星用に使いやすいモジュールにするための開発を行なっています。

ケンプスさんからみて、

赤平はどんな存在ですか？

赤平には2つの魅力があります。ひとつは、日本経済を加速させ、次世代の科学者やエンジニアに刺激を与える先端技術のインキュベーションセンターで

ある植松電機、もうひとつは、美しい自然と温泉です。この魅力のおかげで赤平を訪問する際は、いつもワクワクしています。



仲間たちと仲良く作業

赤平がもつ宇宙の可能性はどんなところだと思えますか？

私は、植松電機の社長やスタッフの宇宙工学を追求する姿勢に感銘を受けました。その姿勢が赤平の今後の宇宙開発の発展に大きく寄与するものと思います。

